

日本語学習支援実践者研修

@横須賀・三浦地域

日本語教室は、外国人住民との相互理解の場や居場所、地域社会との接点として、とても重要となっています。

日本語教室が継続、発展していけるよう、教室間・地域間のネットワークづくりを目指し、研修を実施します。皆さまのご参加をお待ちしています。



第1回

日本語教室が地域の多文化共生の拠点となるためには？

生活支援などあらゆるニーズの集中している日本語教室が、地域に関わる多様な主体とのネットワークを活用し、多文化共生の拠点としてよりよい形で継続・発展することを目指します。

11月5日(土)
14:00～16:00

申込締切: 10月27日(木)

内容

- 1) 報告「地域に暮らす外国人住民の現状」
報告者: 杉山 賢一氏 (横須賀市市長室 交流推進担当課長)
- 2) 事例紹介「外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援と居場所づくり」
信田 将臣氏 (認定 NPO 法人多文化共生センター東京 事務局スタッフ)
- 3) 参加者交流会
～地域日本語教育の“あるある” シミュレーションゲーム
ANADO (アナドゥ) を体験してみよう～
講師: 神吉 宇一氏 (武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科教員)

第2回

日本語教室を魅力ある相互理解の場とするには？

日本語教室・日本語学習を通じた相互理解の場づくりについて、参加者がともに考えることで、参加者同士のノウハウ・リソースの共有を図ります。

11月14日(月)
14:00～16:00

申込締切: 11月4日(金)

内容

- 1) 講義「相互理解を深める“対話中心の活動”の実践について」
講師: 吉田 聖子氏 (文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー)
- 2) グループワーク
「対話中心の活動」を実践するための工夫等について参加者同士で話し合います。
- 3) 神奈川県の日本語事業の取組概要の紹介及び情報提供

● 場所: 横須賀市産業交流プラザ 第2研修室

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、オンライン開催に変更する可能性があります。

● 定員: 20 名 ※定員を超えるお申込みがあった場合、抽選とさせていただきます。

● 申込方法: 申込フォームよりお申込みください。-----▶ https://willap.jp/p/acc_4614/Kanagawanihongo_jissen_2/



講師・事例発表者

第1回

杉山 賢一氏

横須賀市市長室
交流推進担当課長

横須賀市では長年地域で日本語会話サロンを運営しており、2022年4月からは子ども向けの日本語教室も開始した。

また、今年度は、日本語初心者向けの日本語講座として、生活オリエンテーション等を組み込んだ専門家による集中型の講座を神奈川県と共催で開催している(日本語クラス「はじめてのにほんご(横須賀教室)」)。

第1回

信田 将臣氏

認定 NPO 法人多文化共生センター東京
事務局スタッフ

塾講師を務めていた時に、外国にルーツをもつ子どもや家族からの相談件数が増えてきたことで、彼らの教育についての問題に関心を持つ。2017年に東京都荒川区「ハートフル日本語適応指導事業」の日本語指導員を務める。2018年から「認定NPO法人多文化共生センター東京」にて、平日は「たぶんかフリースクール杉並校」の教務を担当、土曜日はボランティア教室の運営サポート等を担当し、子どもたちや家族の支援に関わっている。

第1回

神吉 宇一氏

武蔵野大学グローバル学部
日本語コミュニケーション学科教員

社会人になって最初の仕事は小学校教員、その後、正規・非正規 30 以上の職を経験し、2016 年より現職。専門は日本語教育、言語政策。文化庁地域日本語教育アドバイザーも務める。主な著書・論文に「公的日本語教育を担う日本語教師に求められるもの(『日本語教育』181号)」など。

第2回

吉田 聖子氏

文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー

「にほんごでつながる町づくり」を合言葉に、地域日本語教育の人材育成に携わって40年。全国各地でその地域に適した日本語教室に関わる人材育成に携わっている。神奈川県在住。著書「外国人と対話しよう!にほんごボランティア手帖」「同 すぐに使える活動ネタ集」

ANADOとは

日本語学習支援の現場で起こりうる困難や葛藤等について、参加者同士が意見交換をしながら、課題解決のプロセスを体験することを目的としたシミュレーションゲーム

(作成:ANADO作成チーム(公財)北九州国際交流協会)

会場

京急本線 汐入駅より徒歩1分

